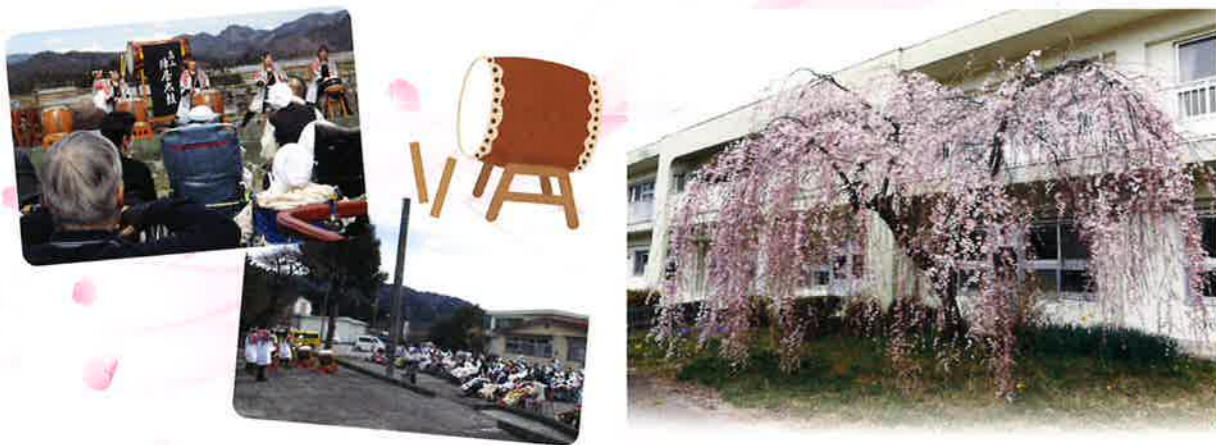


花見の様子

春恒例の花見の会が4月18日(木)に開催されました。病院周辺の桜の開花は間に合いませんでしたが、病棟のしだれ桜が満開となり、花見の会に素敵な色を添えてくれました。陣屋太鼓の皆様のご協力を得て盛大に開催出来たことに感謝申し上げます。



外来診療のご案内

診療時間／午前8時30分～午後0時00分

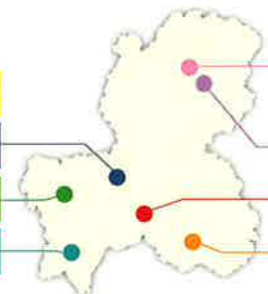
	月	火	水	木	金
担当医	西野 (内科)	五藤 (整形外科)	西野 (内科)	五藤 (整形外科)	西野 (内科)

- 担当医が変更する場合は、待合室に掲示してお知らせします。
- リハビリテーション科では入院患者さんにとって在宅等に向けての大切な訓練の場です。「通所リハビリテーション」でもリハビリを積極的に行っています。利用を希望される方はご相談ください。
- 入院について詳しいことは、受付・会計(医事課)、地域連携室にお問い合わせください。

詳しくは会計窓口までお尋ねください。☎0577-32-1900

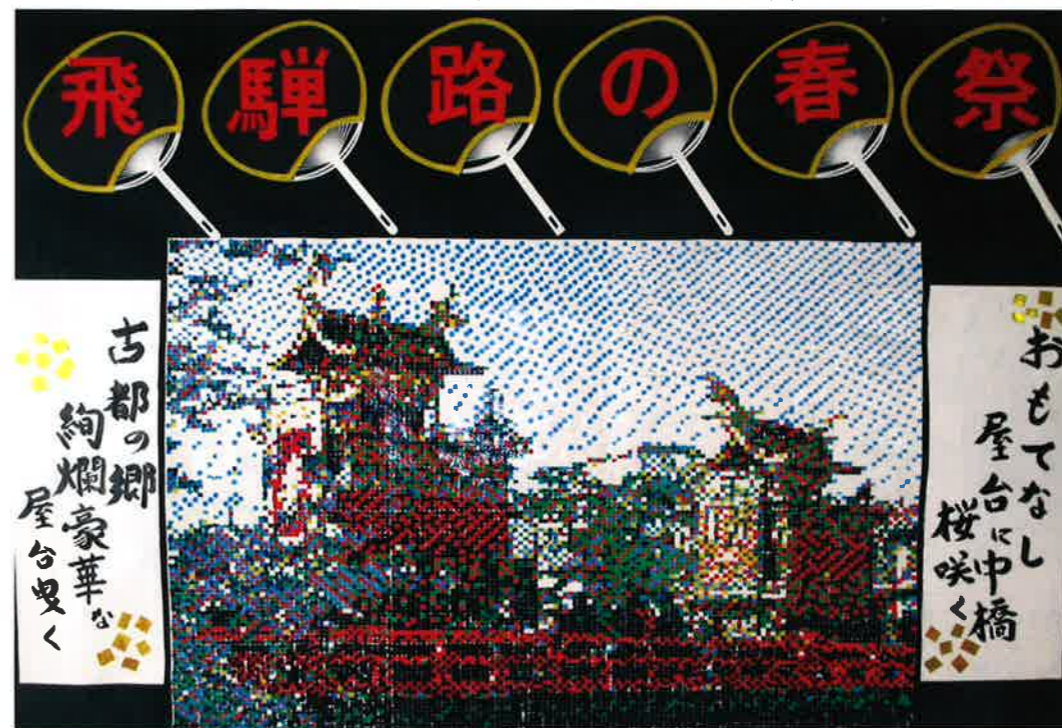
岐阜県厚生連病院所在地

岐阜北厚生病院	山県市高富
揖斐厚生病院	揖斐郡揖斐川町
西美濃厚生病院	養老郡養老町



久美愛厚生病院	高山市中切町
高山厚生病院	高山市山口町
中濃厚生病院	関市若草通
東濃厚生病院	瑞浪市土岐町

看護師
介護士
募集中



17605枚の小さなシールで彩られた点描画(通所リハビリ共同作品)

たかやま
こうせい

Vol.50
令和元年5月発行
JA岐阜厚生連
飛騨医療センター
高山厚生病院

新任のご挨拶



看護部長
山下 栄

4月より高山厚生病院 看護部長として就任しました山下栄と申します。久美愛厚生病院で36年半働かせて頂き、定年退職後お世話になることとなりました。初めての病院で場所も物もスタッフの名前も全くわからないままのスタートとなります。

窓から見える山々やのどかな景色はこの病院にとっては大きな魅力だと感じています。この環境の中で地域の皆さんに愛される病院をめざし、医療・介護スタッフが協力しながら、利用して下さる患者様に安心して療養して頂けるよう努力していきたいと思っています。

また、当院が地域の皆様方より何を求められ、どのような役割があるのかを見極めながら、少しでもご意向に沿えるようにしていかなければいけないと思っています。

皆様のお力をお借りしながら頑張っていく所存ですので宜しくお願いします。

退職のご挨拶



西村 しのぶ



当院は平成14年12月1日、国療高山病院から岐阜厚生連へ経営移譲され高山厚生病院療養病床として再スタート致しました。

当時、私は久美愛病院で4年目の新米師長として就業しておりましたが、その時に高山厚生病院への転勤を命じられました。病院の経営移譲・療養病床・看護部長と初めてのことばかりで、何もわからないこの私が就任することは職員を始め、患者さん方に多大なご不満とご心配を与えるものだと思しながらも、当院へ着任させて頂きました。

その時の気持ちは「目をつむって飛び込む様な思い」でした。

着任後、地域のいくつかの婦人部の総会に出席し当院に対するアンケート調査をさせて頂きました。外来診療をやっていることを知らないと答えた方がおよそ1/3見えました。また、「この病院の前を通る時は息を止めて走り去れと、幼少の時に言われた」と記入された方も数名見えました。目の前にあってほしくない病院を、有って良かったと思ってもらえる病院にするにはどうすればいいのかと途方に暮れるような思いでした。当時の内海病院長に「とにかく地域のニーズに応えるよう誠実な医療と看護・介護をやる事が必要なのだ」と言われ、答えが見えてきたような気がいたしました。高山病院の職員、久美愛病院の職員、外部からの介護職員、3者58名が12月1日に集合し、70名の患者さんの看護・介護が開始されました。初めての人との初めての夜勤もありましたが、職員一人一人の驚くほどの懸命さと緊張感と団結心のお陰か、何の事故も起きることなく過ぎていき、一年一年安堵したことを覚えています。

また、恒例の夏祭りは職員だけでは患者さん方に雰囲気は味わってもらえないと、地域の方々にご協力を頂いて始めた行事ですが、今年で16回目を迎えます。夏祭りを機に当院の存在や役割を知って下さる方も増え、皆様に支えられ、また、慕って下っている実感を覚えています。



療養病床には医療病床と介護病床がありますが、国は5年後には介護病床を廃止する方針を出しています。

そして、転換先として「介護医療院」という施設を打ち出しましたが、厚生連としては今後のことはまだ未定です。就業している職員も、入院しておられる患者さんやご家族も不安を持っておられる事と思いますが、どれだけでも最小限の不安で療養や就業ができますよう、厚生連としても努力をしていくものと思います。

そのような中、私は定年退職を延長して勤めさせて頂いておりましたが、そろそろこの辺で辞退させて頂き次の人にバトンタッチしようと退職の決意を致しました。16年4ヶ月、顧みれば本当に楽しく仕事をさせて頂きました、未熟な私を看護部長として支えてくださいました。

開院時から現在までの職員の皆様、患者様、地域の皆様、厚生連の皆様方には心より感謝とお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

最後になりましたが皆様方のご健康と、高山厚生病院が最後まで地域のお役に立てますことを祈願して退職のご挨拶とさせていただきます。



技能実習制度導入について

日本全国において介護職が不足する中、平成29年11月より技能実習制度対象職種に「介護職種」が追加されました。当院、療養病床においてもここ数年、介護職の応募が激減しており、この度人材確保のために技能実習制度を導入することになりました。

しかし、本来技能実習生とは、『日本で培われた技能・技術・知識を発展途上国や地域等への移転を図り、経済発展を担う「人づくり」に協力することを目的とする』とされています。「技能実習法」という法律に基づき、労働者でもありますが実習生でもあることを充分理解し、対応することが大切であると認識しなければなりません。

当院採用予定の技能実習生は女性3名で、母国はベトナムです。知らない土地で不安も大きいことを理解しながら、温かく迎えることが出来るよう、現在体制を整えている所です。

当初は、コミュニケーションや介護技術の面で多大なご迷惑をお掛けすることと思いますが、どうぞご理解とご協力をお願いいたします。

実習(就業)は6月頃からの予定です。